

平成24年度

神石高原町教育委員会  
事務の点検及び評価報告書

平成25年8月

神石高原町教育委員会

# 目 次

はじめに	1
I 教育委員会の点検と評価制度の概要	2～3
1 点検と評価の趣旨	2
2 対象年度	2
3 点検と評価の対象事業	2
4 点検と評価の方法	2～3
II 教育委員会の活動状況及び活動概要	4～8
1 教育委員会の活動状況	4～6
2 教育委員会活動の概要	6～8
III 点検評価の結果	9～20
1 確かな学力の向上	9
2 豊かな心や健やかな体の育成	10
3 信頼に応える学校づくり	11
4 教育環境の整備	12
5 中高一貫教育	13
6 食育の推進	14
7 学習機会の提供及び学習環境づくり	15
8 図書館の充実及び図書情報の発信	16
9 人権尊重への意識高揚，推進体制の充実	17
10 体育協会並びにスポーツ少年団への支援	18
11 質の高い芸術並びに文化の提供	19
12 文化財の保存及び継承	20
IV 外部評価委員の意見	21～22
1 教育委員会の活動	21
2 点検評価票	21
3 総合評価	22
資料1 平成24年度神石高原町教育委員会 経営計画	
資料2 平成24年度神石高原町教育委員会 自己評価表	

## は じ め に

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(昭和31年法律第162号(以下「地教行法」という。))第27条に、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」と規定されています。

神石高原町教育委員会では、この地教行法の規定に基づき、今後の効果的な教育行政の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、「教育委員会の自己点検並びに評価」を実施し、教育に関する学識経験を有する者の意見を付した報告書としてまとめました。

教育委員会では、今回の自己点検並びに評価の結果について、町民の皆様に公表するとともに、皆様のご意見を次年度以降の事業の立案に反映することにより、教育行政の更なる推進に努めてまいりたいと考えておりますので、町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年8月

神石高原町教育委員会

# I 教育委員会の点検と評価制度の概要

## 1 点検と評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条により、教育委員会は平成20年4月から、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検と評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、公表することが義務付けられました。

この報告書は、同法の規定に基づき神石高原町教育委員会が行った点検と評価の結果をまとめたものです。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限の属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 対象年度

平成24年度

## 3 点検と評価の対象事業

点検と評価の対象は、神石高原町長期総合計画（平成19年度～平成28年度）の基本計画に位置付けられている①学力の定着と向上、②教育の環境づくり、③生涯学習の推進、④豊かな歴史と文化の育成及び振興の4施策で、平成24年度教育行政方針において、主要な施策として位置付けて実施した12事業について点検と評価を実施しました。

## 4 点検と評価の方法

点検と評価にあたっては、評価指標等を設定し、次項の表のとおり4段階の評価としました。

区 分	内 容
A	目標は、十分達成された。
B	目標は、達成された。
C	目標は、十分に達成できなかった。
D	目標は、全く達成できなかった。

なお、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条第2項の規定に

よる「教育に関し学識経験を有する知見の活用」に関しては、広い観点から知見を期して、学校教育、社会教育分野での教育や人材育成に携わった経験を持ち識見の高い、元神石高原町教育委員会委員長の 竹川 導人 氏からご意見とご助言をいただきました。

## II 教育委員会の活動状況及び活動概要

### 1 教育委員会の活動状況

#### (1) 教育委員会委員

職名	氏名	性別	備考
委員長	山本剛久	男	元教育関係者
委員長職務代理者	中岡康典	男	自営業
委員	田邊孝章	男	自営業
委員	藤原和則	男	団体職員・保護者
教育長	佐竹秀朗	男	元行政関係者

#### (2) 教育委員会会議の開催状況

定例会 12回 臨時会 3回

#### (3) 教育委員会会議での審議状況

議決の状況

議案番号	議案名	議決日
13	神石高原町立学校評議員の委嘱について	24・4・13
14	神石高原町立学校関係者評価委員の委嘱について	〃
15	神石高原町文化財保護委員会委員の選任について	〃
16	神石高原町スポーツ推進委員の選任について	〃
17	神石高原町図書館運営協議会委員の選任について	〃
18	三和給食共同調理場及び豊松学校給食共同調理場運営委員会委員の任命について	5・11
19	平成24年度要保護及準要保護児童・生徒の認定について	〃
20	平成25年度に小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書のうち、学校教育法附則第9条の規定による図書に係る採択の基本方針について	〃
21	神石高原町教育委員会教育長職務代行を指定する規則の一部を改正する規則について	〃
22	神石高原町民水泳プール運営規程の一部を改正する規程について	〃

23	神石高原町教育委員会公印規程の一部を改正する規程について	5・11
24	神石高原町小中学校結核対策委員会設置要綱の一部を改正する要綱について	〃
25	神石高原町立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則について	7・23
26	平成24年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について	〃
27	平成25年度特別支援学級で使用する教科用図書採択について	8・15
28	就学指導委員会への諮問について	8・30
29	平成23年度教育委員会に関する事務の点検・評価について	〃
30	神石高原町招致外国青年任用規則の一部を改正する規則について	9・25
31	平成24年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について	〃
32	神石高原町立屋内体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例について	11・22
33	神石高原町教育委員会委員長の選挙について	12・25
34	神石高原町統合中学校の校名及び寮名の決定について	〃
1	一般職の勤勉手当に係る勤務成績の証明等に関する取扱要領（平成24年4月3日広島県教育委員会教育長通知）第4条の上位区分該当者推薦に係る取扱基準の制定について	25・1・25
2	平成25年度神石高原町学校教育の重点施策（案）について	2・20
3	平成25年度特別支援学級において使用する教科用図書の採択について	〃
4	神石高原町立学校設置条例の一部を改正する条例について	〃
5	神石高原町立中学校寄宿舎設置条例の制定について	〃
6	神石高原町シルトピアセンター設置及び管理条例の一部を改正する条例について	〃
7	神石高原町立グラウンド設置及び管理条例の一部を改	〃

	正する条例について	
8	神石高原町民庭球場設置及び管理条例の一部を改正する条例について	2・20
9	神石高原町立統合中学校の校章について	〃
10	神石高原町立中学校寄宿舎管理運営規則の制定について	3・26
11	平成24年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定について	〃
12	平成25年度神石高原町社会教育行政計画（案）について	〃
13	神石高原町人権教育・啓発基本計画（案）について	〃

## 2 教育委員会活動の概要

### (1) 各種会議への出席

会 議 名	出席者	開催日	場 所
広島県町教育長会役員会及び広島県市町教育長会議	教育長	24・4・16	広島市
第1回東部教育事務所管内教育長会議	教育長	4・24	尾道市
第4回神石高原町連携型中高一貫教育推進協議会	委員長	5・11	神石高原町
広島県市町正副教育長会議	教育長	5・21	広島市
全国町村教育長会第54回定期総会並びに研究大会	教育長	5・16~5・18	東京都
第55回広島県町教育長会定期総会	教育長	5・25	廿日市市
神石高原町連携型中高一貫教育支援会議総会	委員	5・28	神石高原町
連携型中高一貫教育一ノ宮北中学校視察	委員	6・27	兵庫県
第2回東部教育事務所管内教育長会議	教育長	7・19	尾道市
広島県町教育長会臨時会	教育長	8・9	安芸郡
中国五県町村教育長研究大会（広島大会）	教育長	8・24	広島市
中高一貫教育講演会	委員	8・30	神石高原町
第5回神石高原町連携型中高一貫教育推進協議会	委員長	9・24	神石高原町
第3回東部教育事務所管内教育長会議	教育長	10・1	尾道市
広島県町教育長会研修会	教育長	11・10	世羅町

広島県市町教育委員会教育委員研修会	委員	11・15	広島市
第4回東部教育事務所管内教育長会議	教育長	25・1・11	尾道市
第2回広島県市町教育長会議	教育長	1・29	広島市
神石高原町教育講演会	委員	2・28	神石高原町

(2) 議案以外の報告・協議状況

開催日	定例会における報告・協議内容
24・4・13	神石高原町文化財保護委員会からの要望，意見具申について
6・8	平成24年度6月補正（案）について
〃	神石高原町連携型中高一貫教育推進について
〃	「善意の一円玉を東日本に贈ろう！」について
8・15	いじめに関する緊急メッセージについて
8・30	平成24年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果速報の概要について
〃	平成24年度9月補正（案）について
〃	「いじめ対策ハンドブック」について
9・25	平成25年度就学児童・生徒について就学指導委員会からの答申について
10・23	児童の区域外就学について
〃	神石高原町連携型中高一貫教育推進について
11・22	神石高原町立統合中学校寄宿舎について
12・7	神石高原町教育委員会委員について
〃	平成24年度12月補正（案）について
〃	平成24年度要保護及び準要保護児童・生徒の認定内容の変更について
25・1・25	統合中学校の校歌について
2・20	児童の区域外就学について
〃	平成24年度3月補正予算（案）について
〃	平成25年度当初予算（案）について
〃	平成25年度神石高原町教育行政方針（案）について
3・11	神石高原町立統合中学校の校章について
3・26	平成25年度就学児童・生徒について就学指導委員会からの答申について
〃	平成25年度神石高原町立小中学校教職員の人事異動に係る内示について

3・26	平成25年度神石高原町教育委員会事務局職員の人事異動に係る内示について
------	-------------------------------------

(3) 教育委員の学校訪問

訪問日	訪問先	内容
24・9・28	神石小・油木中・神石中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観</li> <li>・学校経営状況について</li> <li>・学校施設及び学校運営等条件整備について</li> </ul>
10・2	豊松小・豊松中・油木小	
10・12	来見小・三和小・三和中	

### Ⅲ 点検評価の結果

#### 平成24年度 点検評価票

中期経営目標	個に応じたきめ細かな指導
短期経営目標	確かな学力の向上

#### 1 短期経営目標(具体)

主に、次のことに取組み、学力向上を図る。

- ①広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果分析
- ②課題分析・指導改善の研究協議
- ③授業力向上の研修
- ④標準学力検査の実施
- ⑤複式学級対応の非常勤講師を配置

#### 2 取組・方策

- ①各学校において結果分析及び町教育委員会による分析結果を提供
  - ・各学校において、課題となる問題の分析及び改善のスケジュールの計画樹立
  - ・町教育委員会において、小中学校別のデータ分析をして各学校に情報を提供
- ②課題分析・指導改善の研究協議
  - ・小学校の研究主任により、広島県「基礎・基本」定着状況調査問題の中で、特に課題が大きいと判断する国語科2題・算数科3題を選定し、それらの誤答分析から指導改善方策について研究協議
  - ・中学校は各校で「言語活動の充実」の成果を他教科へ波及させるとともに校内研修の充実を図る
- ③授業力の向上研修
  - ・授業力の向上研修・・・宮城教育大学教職大学院 相澤秀夫教授を招聘し、研修
  - ・理科の授業力向上研修・・・東部教育事務所指導主事を招聘し、研修
- ④標準学力検査の実施
  - ・年度末に小学校1年生から中学校3年生までの児童生徒を対象に実施し、年間の取組の検証及び次年度の取組の改善に活用する
- ⑤複式授業対応非常勤講師の配置
  - ・来見小学校、豊松小学校、神石小学校の各学校へ、1つの複式学級につき、年間420時間以内で配置し、主に理科、社会及び算数・国語等を単式授業を展開

#### 3 評価

評価指標	広島県「基礎・基本」定着状況調査
実績値(平成23年度)	小国79.2(+0.7) 小算78.1(+0.3) 中国78.2(+5.0) 中数79.9(+5.2) 中英77.1(+5.2)
目標値(平成24年度)	前年度数値を超える
総合評価	B

#### 平成24年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果

学年	国語	算数／数学	英語
小学校5年生	81.7(+5.6)	80.1(+5.1)	—
中学校2年生	85.0(+4.0)	78.5(+4.4)	75.1(+0.9)

※( )内は、広島県平均との差

<考察> 小学校において向上が見られた反面、中学校の数値は従来よりやや下降気味であるが、小中学校ともに全ての教科で県平均を上回った。

#### 4 改善策

- ①課題分析・指導改善に関する研究協議の実施方法の改善
  - ・小学校は研究主任中心の取組から学校全体への取組へと転換を図る。
  - ・中学校は「言語活動の充実を意識した授業研究」の実施教科を広げる。
- ②授業力向上研修の充実
  - 授業力向上研修及び理科授業力向上研修の充実を図る。

## 平成24年度 点検評価票

中期経営目標	体験活動等の充実
短期経営目標	豊かな心や健やかな体の育成

### 1 短期経営目標(具体)

「不登校」への対応として「不登校を未然に防止する取組」と「不登校児童生徒の学校復帰をめざした指導と支援」の二つの視点で取り組む。

また、「いじめ」に対しては、受けている児童生徒の立場に立って指導し、「いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度で指導することにより、不登校児童生徒及び「いじめ」を減少させる。

### 2 取組・方策

#### (1) 神石高原町生徒指導主事研修会の開催(1回)

各小中学校の生徒指導主事を対象に、生徒指導方針を共通理解することにより、生徒指導体制を強化した。

#### (2) 児童生徒の欠席状況調査(毎日)

児童生徒の欠席状況を把握し、欠席日数が多い児童生徒に対して、早期対応として担任と生徒指導主事による家庭訪問を実施することにより、未然のうちに不登校対策に努めた。

#### (3) 問題行動の実態把握と指導

月末に集約し、実態把握と必要な指導や学校訪問を行った。

#### (4) スクールカウンセラーの活用

### 3 評価

評価指標	不登校				いじめ(1000人あたりの認知件数)			
	神石高原町		県平均		神石高原町		県平均	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
実績値(平成23年度)	0.50%	4.04%	0.42%	2.88%	5.00件	4.50件	1.50件	3.00件
目標値(平成24年度)	0.00%	0.00%			0.00件	0.00件		
実績値(平成24年度)	0.00%	2.90%			5.05件	33.82件		
総合評価	A	B			C	C		

\* 平成24年度実績数値については、例年以上に詳細な把握をしたため、「いじめ」の認知件数が増えた。

### 4 改善策

○積極的生徒指導による未然防止の充実を図る。

○生徒指導主事研修の内容を考慮する。

○学期末毎のアンケート等により児童生徒の実態把握を行い、不登校傾向児童生徒、いじめへの早期対応のための指導を強化する。

○スクールカウンセラーの活用や家庭教育支援アドバイザーの配置、また子育て支援ネットワーク会議との連携強化を図る。

○定期的な学校訪問

事務局職員が各校月1回程度計画的に学校訪問を行い、児童生徒や授業の様子を点検し必要な指導助言をする。

## 平成24年度 点検評価表

中期経営目標	情報の公開及び学校評価・自己評価の推進
短期経営目標	○信頼に応える学校づくり ・情報発信及び学校評議員、学校関係者評価委員の意見を学校経営に活かす

### 1 短期経営目標(具体)

①学校評価の充実 学校評議員、学校関係者評価委員会の充実 ②情報発信 学校だより及び学校HPによる情報発信 ③教職員の不祥事防止 町不祥事防止対策協議会の取組の充実
---

### 2 取組・方策

①学校評価の充実 学校評議員や学校関係者評価委員への来校依頼、学校関係者評価委員会の定期的開催及び意見の学校経営への反映 ②情報発信 学校だよりの配布・配信の徹底、学校HPの定期的な更新等により、学校の様子が地域保護者にわかるようにする取組 ③教職員の不祥事防止 各校に設置している不祥事防止委員会の機能化及び研修の充実等の取組を、町不祥事防止対策協議会において検証・意識調査分析等を行った。
---

### 3 評価

評価指標	①学校評議員・学校関係者評価委員への積極的な来校依頼 ②学校だよりを校区内全戸で読める工夫をした割合 ③不祥事の生起件数
実績値(平成23年度)	①学校評議員、学校関係者評価委員への積極的な来校依頼 100% ②学校だよりを校区内全戸が読めるような依頼等をした 100% ③不祥事案の発生件数 ゼロ
目標値(平成24年度)	①100% ②100% ③ゼロ
総合評価	C

#### 平成24年度実績

①学校評議員、学校関係者評価委員への積極的な来校依頼 100% ②学校だよりを校区内全戸が読めるような依頼等をした 100% ③不祥事の生起件数 1件 <考察>①各種行事、参観日等に積極的に来校依頼している。 ②校区内全戸配布や回覧板形式で、学校の様子は広く情報提供されている。 ③不祥事により懲戒免職処分を受ける事案が1件生じた。学校状況の把握が不十分であった。
---

### 4 改善策

・町不祥事防止対策協議会の充実 全校で統一的に行う取組の策定・充実 服務規律に係る研修の充実 ・各校のホームページの充実 定期的な更新及びその内容について点検・指導の充実
---

## 平成24年度 点検評価票

中期経営目標	耐震対策及び学校再編計画
短期経営目標	教育環境の整備

### 1 短期経営目標(具体)

昭和56年以前の旧耐震の校舎, 屋内運動場の耐震診断を行い, 耐震化対策を実施する。  
平成26年4月開校の統合中学校の建設を実施する。

### 2 取組・方策

#### 整備内容

(神石小学校)

- ・昭和41年建築校舎の危険改築による新校舎建て替え(平成23年度繰越事業)
- ・新校舎に付随する給食調理棟建設

(豊松小学校)

- ・昭和44年建築屋内運動場の耐震補強工事(平成23年度繰越事業)

(統合中学校)

- ・平成26年4月開校の統合中学校建設に係る設計業務
- ・統合中学校校舎棟新築工事(平成25年度繰越事業)

### 3 評価

評価指標	耐震補強等工事の実施済棟数の割合
実績値(平成23年度)	町内小中学校校舎等の耐震化率・・・小学校=77.7% 中学校=22.2%
目標値(平成24年度)	町内小中学校校舎等の耐震化率・・・小学校=100% 中学校=22.2%
総合評価	A
・神石高原町立小中学校のうち, 小学校5校9棟中耐震化対象3校4棟すべての耐震化を完了した。 ・中学校4校9棟中耐震化対象3校7棟については統合中学校校舎が平成25年度に完成し施設を未使用化することによりすべての学校施設の耐震化を完了する。	

### 4 改善策

- ・平成25年度統合中学校校舎の整備を実施する。
- ・今後は, 非構造部材の耐震化等を平成27年度までに実施する。

## 平成24年度 点検評価票

中期経営目標	耐震対策及び学校再編計画
短期経営目標	中高一貫教育

### 1 短期経営目標(具体)

広島県立油木高校と町内中学校による連携型中高一貫教育を平成26年4月から本格実施できるような環境づくりをしていくための事業(広島県立油木高校が連携型中高一貫教育実践校の指定を受けるための準備経費)

### 2 取組・方策

1.取組み全般に係る統括……連携型中高一貫教育推進協議会を中心に

(1)推進協議会の開催 3回/年

2.中高一貫教育の中身づくり……連携校の校長会を中心に

(1)教科連携 「高校英語入門講座」生徒輸送・教科研究

(2)教科外連携 進路・生指・総合等を中心とした教科外研究

(3)部活動連携 部活動生徒輸送

(4)中高合同行事 油高体験入学・学習成果発表会への生徒輸送  
高校進路説明会

(5)先進地視察研修 連携型中高一貫教育公開研究発表会への参加

3.啓発活動・支援体制づくり……連携型中高一貫教育支援会議を中心に

(1)広報紙の発行 3回/年(児童・生徒・保護者・町民へ配布)

(2)油高パンフレットの作成 中高一貫教育ガイドパンフレットの印刷製本600部

(3)講演会の開催 啓発活動のための講演会等の開催

(4)啓発横断幕の制作 横断幕4ヶ所分

○予算総額 2,000,000円

### 3 評価

評価指標①	各関係者(中学生, 高校生, 小・中保護者, 地域, 中・高教員)の満足度
実績値(平成23年度)	75%
目標値(平成24年度)	65%以上
総合評価	A(実績値78%)
評価指標②	広島県立油木高校への町内入学率
実績値(平成23年度)	44%
目標値(平成24年度)	60%以上
総合評価	C(実績値53%)

#### 1.評価のポイント

①教育効果の向上                      ②油木高校への入学率                      ③関心や期待・満足度

#### 2.主な事業内容

平成24年度

(1)教育効果を上げる実績づくり……中高連携教育の推進で「知・徳・体」の教育実績づくり

(2)油木高校魅力づくり(支援策)の策定……町外生徒バス通学定期券購入費補助事業  
農業後継者研修補助事業など

平成25年度

(1)教育効果を上げる実績づくり……一層の中高連携教育推進により教育実績の向上を図る

(2)支援体制の強化と県教委との調整……本格実施目標前年度における県教委へのアプローチ

(3)連携型中高一貫教育の指定校(油木高校)を受ける……「第3次県立高校再編整備計画」策定中

### 4 改善策

1.教育効果を上げる実績づくり

(1)中高における学校現場の連携意識を高める

・具体的連携実践を1人1回以上もつよう努める

・中高合同視察研修

・町教委主催研修会などの場を活用して, 町の方針や内容伝達

2.町内からの入学率を向上させるために

(1)高校進路説明会の工夫

(2)部活動での活用

(3)油木高校魅力アップづくり支援策の継続検討

(4)啓発活動の充実

## 平成24年度 点検評価票

中期経営目標	食育の推進
短期経営目標	食育の推進

### 1 短期経営目標(具体)

近年、児童生徒の食生活をめぐる環境は大きく変化し、栄養の偏りや不規則な食事による肥満や生活習慣病の増加など、食に起因する問題は様々であり、問題解決のために食育を推進する必要がある。  
食に関する専門性を持った栄養教諭を中心とし、児童生徒が「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を営むことができるよう、食育の充実を図る。

### 2 取組・方策

- ・食育の年間計画に基づき、栄養教諭を中心に食育の授業に取り組む。
- ・地場産品食材を多く使用した給食を提供するため、また、旬の食材の活用を図るため、栄養教諭・学校栄養職員や関係機関と連携し、給食に使用する食材の掘り起しや献立検討を行い、学期に1度「神石高原ランチ」を提供する(食育地産地消推進事業)。

### 3 評価

評価指標	①栄養教諭の指導時間数				
実績値(平成23年度) 県目標値:100時間以上	4月～10月まで:53時間 11月～ 3月まで:48時間		計:101時間		
実績値(平成24年度) 県目標値:100時間以上	4月～10月まで:67時間 11月～ 3月まで:48時間		計:115時間		
※「食に関する実態調査」による(3回/年) 調査対象:小学6年生(対象校:栄養教諭配置校と未配置校より抽出)					
評価指標	②地場産品の使用割合				
実績値(平成23年度) 目標値:50品目以上		使用 食品数	町内産品 使用食品数	地場産品の 割合(%)	備考
	6月	291	19	38.0	
	11月	291	67	134.0	
実績値(平成24年度) 目標値:50品目以上		使用 食品数	町内産品 使用食品数	地場産品の 割合(%)	
	6月	295	38	76.0	
	11月	290	49	98.0	
※「学校給食における地場産物の活用状況調査」による(2回/年) 調査対象:栄養教諭・学校栄養職員配置校及び共同調理場					
総合評価	C				

### 4 改善策

- ・栄養教諭未配置校への活用を広げていく。
- ・地場産品食材を積極的に取り入れるための体制づくりや、関係機関と連携を図る。

## 平成24年度 点検評価票

中期経営目標	公民館・図書館を拠点とした生涯学習施設の充実
短期経営目標	学習機会の提供及び学習環境づくり

### 1 短期経営目標(具体)

今日的課題や地域課題など個々に応じた学習機会の提供や情報発信に努める。

### 2 取組・方策

生涯学習講座「J-OX」の開催や成人式開催，放課後子ども教室事業，公民館活動事業を推進した。講演会や，野菜栽培，パソコン，陶芸，ソバ打ちなどの各種講座等を開催し，知的で心豊かな生活，活力ある社会の実現をめざした。

### 3 評価

評価指標	成人式参加率	放課後子ども教室	公民館活動事業	生涯学習講座「J-OX」
実績値(平成23年度)	88名/115名	19,356 延人	36講座	4講座
目標値(平成24年度)	79名/104名	15,000 延人	42講座	4講座
実績値(平成24年度)	76名/104名	14,639 延人	42講座	4講座
総合評価	A	A	A	A

公民館活動においての住民のニーズは，社会情勢の変化が大きく関係している。そのことを考慮し，時機を逃すことなく，現代的課題についての学習機会を提供，奨励していかなければならない。

### 4 改善策

- ・多様な教室・講座を開催することにより，住民の身近なところでより多くの学習機会の提供を図るとともに，さらに効率的な運営に努める。
- ・公民館によって運営の方法や教室・講座等の内容に差異があるが，地域性，独自性を生かしつつ，共通する地域的な課題について学習し，より効果的な活動内容を実現する。

## 平成24年度 点検評価票

中期経営目標	公民館・図書館を拠点とした生涯学習施設の充実
短期経営目標	図書館の充実及び図書情報の発信

### 1 短期経営目標(具体)

読書を通じた「教養のまちづくり」を推進する。
------------------------

### 2 取組・方策

「ブックスタート事業」や読書感想文コンクールなどの読書習慣定着に向けた取り組みを行うとともに、図書館情報システムを活用した図書館利用の促進を図る。このほか、読書に親しんでもらえるように、「絵本のおはなし会」、「おはなしコンサート」の開催や図書館だよりの発行を行う。
--

### 3 評価

評価指標	読書感想文コンクール	図書館貸出状況	図書館だより発行	おはなしコンサート
実績値(平成23年度)	510点	33,421冊	5回	6会場
目標値(平成24年度)	580点	34,000冊	12回	8会場
実績値(平成24年度)	497点	36,408冊	12回	9会場
総合評価	B	A	A	A

費用対効果を考慮しながら、限られた予算の中で要望に応えるべく図書資料や視聴覚資料の購入と提供を行っている。施設の維持管理面においても最少経費をもって運営に努めている。

### 4 改善策

<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書感想文コンクールは5年間継続し、一昨年からは「黒い雨」の部も設けたが、応募者が伸び悩んでいる。方法についての工夫が必要である。</li> <li>・図書館においては、自館にない本については、他団体との相互貸借を活用したり、順次購入し要望に応じている。</li> </ul>
--

## 平成24年度 点検評価票

中期経営目標	人権を尊重する社会づくり
短期経営目標	人権尊重への意識高揚, 推進体制の充実

### 1 短期経営目標(具体)

人権尊重の精神に徹し, あらゆる差別をなくす意欲と実践力を持った住民の育成をはかり, 明るく住みよい町づくりを推進する。

### 2 取組・方策

町, 町教育委員会, 社会教育委員, 人権擁護委員, 自治振興連絡協議会等で人権学習推進実行委員会を組織しており, 公民館を中心に自治振興会単位での学習を推進する。

### 3 評価

評価指標	人権学習会	指導者研修会		
実績値(平成23年度)	35団体/1,357名	1講演会		
目標値(平成24年度)	35団体/1,600名	1講演会		
実績値(平成24年度)	35団体/1,397名	1講演会		
総合評価	B	B		

自治振興会を通じて学習会を行い, 実施率は100%である。他の行事と併せて開催し, 参加率を上げる工夫がみられるようになった。

### 4 改善策

交付金として自治振興会へ世帯割と均等割(共通経費)の方法で交付しているが, 実施内容, 実施方法等とあわせて, 配分について検討を要する。

## 平成24年度 点検評価票

中期経営目標	スポーツの振興
短期経営目標	体育協会並びにスポーツ少年団への支援

### 1 短期経営目標(具体)

スポーツの推進と普及活動

### 2 取組・方策

スポーツ推進委員を中心に、出前教室等各地域へ委員の派遣を行なっている。競技種目からスポーツレクリエーションへとニーズが移ってきており、楽しく体を動かすことへの啓発に力を入れた。地域スポーツの中心を担う体育協会や、スポーツ少年団については、運営費の助成を行い支援する。

### 3 評価

評価指標	ニュースポーツ講習会	トップアスリート教室	体力検定	スポーツ団体補助金
実績値(平成23年度)	9回	4回	2回	6,107 千円
目標値(平成24年度)	7回	3回	2回	6,200 千円
実績値(平成24年度)	7回	3回	2回	6,189 千円
総合評価	A	A	A	A

競技スポーツよりも健康づくり中心に移行することが求められ、保健・福祉機関との連携を深めることが必要である。

### 4 改善策

スポーツ推進委員の活動を広く町民へ周知し、出前教室等地域に出て行く活動の増加をめざす。スポーツ推進委員の年齢分布、活動歴は幅広い人材に委嘱できており効率的であるが、今後、後継者の育成も重要となる。

## 平成24年度 点検評価票

中期経営目標	文化財の継承・保存
短期経営目標	質の高い芸術並びに文化の提供

### 1 短期経営目標(具体)

質の高い芸術・文化の体験, 鑑賞ができる機会の提供を行う。

### 2 取組・方策

町文化連盟の活動支援を行うとともに, 質の高い芸術・文化の体験, 鑑賞ができる機会の提供や, 文化・芸能の拠点としての施設の管理運営を行う。

### 3 評価

評価指標	文化振興事業補助金	巡回演奏会	けんみん文化祭負担金	
実績値(平成23年度)	760 千円	800 千円	200 千円	
目標値(平成24年度)	760 千円	850 千円	200 千円	
実績値(平成24年度)	760 千円	800 千円	200 千円	
総合評価	A	A	A	

事業効果の面から, より多くの町民が体験, 鑑賞できる機会とできるよう工夫が必要である。

### 4 改善策

町文化連盟が行う, 総合文化祭や, 神石郡美術展の周知を図り, より多くの町民が, 文化・芸術の鑑賞ができる場の提供を行う。

町内の小・中学校を巡回する演奏会により, 質の高い音楽に触れ, 音楽への関心や, 技術の習得を図る。

## 平成24年度 点検評価票

中期経営目標	文化財の継承・保存
短期経営目標	文化財の保存及び継承

### 1 短期経営目標(具体)

文化財が町の歴史、文化等の理解、将来の発展のために欠くことのできないものであることを認識し、それらを保存、活用する。

### 2 取組・方策

町指定文化財、古文書を含む歴史的文書等の保存、活用等について協議、検討するとともに、予算の範囲内での補助・助成を行う。  
民俗資料館の運営及び文化財の発掘調査を行う。

### 3 評価

評価指標	古記録保管庫の目録の作成	・帝釈峡遺跡群調査50周年記念シンポジウム	大風呂洞遺跡調査	
実績値(平成23年度)	78 千円	-	450 千円	
目標値(平成24年度)	360 千円	300 千円	450 千円	
実績値(平成24年度)	66 千円	300 千円	450 千円	
総合評価	B	A	A	

貴重な建造物、歴史的資料、民俗芸能、記念物等を保存、活用していくニーズは年々高まっている。

### 4 改善策

指定文化財等の所有者・保持者の高齢化、後継世代の育成の課題等もあり、従前の管理、継承が困難な状況になりつつある。地域の共有財産として保管していく方途を考察しなければならない。  
効率的に事業を遂行しようとするれば、知識と経験を有する専門職員等の指導、協力を要する。

## IV 外部評価委員の意見

神石高原町教育委員会の事務は、小学校、中学校の学校教育、青少年及び成人を対象とした社会教育、公民館・図書館の運営、スポーツ・文化活動の振興など多岐にわたっている。

国において、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正が行なわれ、教育委員会自からの点検及び評価の実施が義務付けられ、この点検評価が、現状の教育行政の成果と課題を明確にしてくれるものと期待される。

この評価は、時系列から見るとまさに教育行政の歴史の記録であり、後世の指針を求める礎となるものであると考える。

従って、長期的な視点に立って、積極的に活用し、一層の効率的な業務を執行されるように期待するものであると思われる。

また、教育委員会不要論が出るなど、一般的にはその役割が十分に知られていない状況があると思われる。

一方では、現在ほど教育について多くの人たちが多面的に真剣に考えている時代はない。本町教育委員会の果たしている役割が、幅広く町民に明瞭に理解されるような積極的な取り組みも必要であると考ええる。

今回12事業について点検・評価を実施しましたが、平均値以上の成果が達成されているものと評価しました。

### 1. 教育委員会の活動

教育委員会議については、定例会及び臨時会が開催され、十分な論議がされるように配慮されている。審議及び検討内容は非常に多岐にわたるが、慎重で迅速な審議が適正に行われ、充分その機能を果たしているものと認められ、敬意を表します。

また、学校訪問や各学校の教育研究会等を参観され、児童・生徒、教師の頑張っている姿、抱えている問題など、生の現場の姿を把握されている。学校における「いじめの問題」については、児童・生徒に相談電話の活用の周知や現場の教師が、この問題に関して神経をとぎすませていることが大切だと考えます。

### 2. 点検評価票

点検評価票は「平成24年度教育行政施策」に掲げられた主要な事業ごとに、内容・事業の成果等を把握し、自己評価等がなされていますが、その内容は、

教育委員会議での様々な意見を踏まえて執行した結果が、適切にまとめられている。

学校教育では、小中学校学習指導要領に基づく、教育課程の実施に必要な教材・教具の整備充実と、安心安全な学校づくりの施設整備が、厳しい財政状況の中にあっても計画的に図られている。

また、新しく小学校を対象とした外国語活動の公教育への導入に関する推進も全校で図られており、委員会と現場の連携も順調であると推察した。

社会教育では、公民館と連携して、未来を担う子どもたちの発達段階に応じた各種事業の推進や町民の学習機会と芸術・文化に触れる機会の確保を図るとともに、良好な社会教育施設の維持管理が図られている。

気になる点は、公民館に文化の拠点となり得るための指導者の配置が必要であると考え。将来は、指導的な力をもつ人材育成を含めて考慮する余地がある。

図書館事業では、シルトピア図書館を核としてネットワークを構築し、利用者の利便性を高めるとともに、町民に親しまれる図書館づくりが進められており評価できる。更なる利便性の向上に努めて頂きたい。

社会体育では、健康増進や体力づくりのため、年齢や体力に応じて気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむことの出来るニュー・スポーツの紹介、普及及び各スポーツ団体の育成が図られ、併せて施設の整備も計画的に行なわれている。

### 3. 総合評価

教育委員会議の運営は、定例の議案審議のみにとどまらず、時代に即した様々な審議が行われ活性化している。今後も、現在の運営が継続されることを期待致します。

また、これからの教育行政は、時代の変化に対応し、自ら判断し、自らの責任において推進していくことが求められています。

そのためにも、より一層それぞれの地域からの意見を積極的に取り入れ、より具体的で効果的な取り組みが行われ、地域の願いが充足されるよう期待すると共に、これまでの教育委員会関係者のご尽力に敬意を表し、総合評価と致します。

## 平成 24 年度神石高原町教育委員会 経営計画

### I ミッション

「神石高原町長期総合計画」における施策「自然と歴史を活かした教育・文化のまちづくり」の推進とともに、平成 24 年度教育行政方針に基づく教育行政を推進する。

### II ビジョン

#### 【町民像】

- 学校教育では、神石高原町の将来を担う子ども一人ひとりが、「知・徳・体」の調和の取れた「生きる力」を身につける。
- 生涯学習では、子どもから大人まで町民一人ひとりが、自らの個性や能力を最大限に発揮し夢や希望・生き甲斐を持つ。

#### 【教育委員会像】

- コンプライアンス（法令と倫理の遵守）に基づく公教育を推進する。
- PDCAのマネジメントサイクルによる業務遂行を目指す。
- 報告・連絡・相談などによる組織的な対応を目指す。
- すばやい対応を目指す。

### III 現状分析

#### 【学校教育】

- 中学校学力向上対策に取り組み、一定の成果を挙げている。小学校は県の平均通過率を上回っているが、活用問題では小学校・中学校とも課題がある。
- 地域を題材とした道徳教材の開発を通して地域への関心や郷土愛を育み、体験学習では、町内小学校 5 年生全員による 3 泊 4 日の合宿体験を通して規範意識や自立心、連帯感の醸成を図っている。
- 学校からの情報発信として、保護者・地域への学校便りやホームページへの掲載、公開授業の積極的な開催に努めている。
- 児童生徒の安全確保のため、学校施設の耐震化に努めている。統合中学校の施設完成後は 100% の耐震化率となる。

#### 【生涯学習】

- 住民への学習の場の提供は行われているが、学習内容が固定化している傾向にある。
- 図書等貸出利用者が近年、横ばい状態である。
- 人権学習は各自治振興会等で 100% の実施率である。
- 生涯スポーツは、各種教室・大会を開催しているが、限られた住民の参加傾向がある。
- 文化財の保存伝承については、整理が遅れている。

平成24年度神石高原町教育委員会 自己評価表

	中期経営目標 (長期総合計画)	短期経営目標 (平成24年度教育行政方針)	評価項目	評価指標	実績値 (( )は、広島県平均との差)		目標値		評価 (自己評価の結果)	改善策	
					H23	H24	H25	H26			
学 校	学力の定着及び向上	個に応じたきめ細かな指導 ○確かな学力の向上 ・言語活動の充実 ・特別支援教育の充実 ・外国語活動を中学へ接続	・各種学力調査を行い、結果を分析し、授業改善に活かし児童生徒がわかる授業を行う。	・広島県「基礎・基本」定着状況調査	小国 79.2(+0.7) 小算 78.1(+0.3) 中国 78.2(+5.0) 中数 79.9(+5.2) 中英 77.1(+5.2)	小国 81.7(+5.6) 小算 80.1(+5.1) 中国 85.0(+4.0) 中算 78.5(+4.4) 中英 75.1(+0.9)	前年度数値を上回る	前年度数値を上回る	B	・小学校では、向上が見られた。 ・中学校では、やや下降気味である。 ・小中とも全ての教科で、県平均を上回った。	・課題分析や指導改善に関する研究協議の実施方法の改善 ・授業力向上研修の充実
	体験活動等の充実	○豊かな心や健やかな体の育成 ・道徳教育の充実 ・宿泊体験活動の充実 ・スポーツテストの向上	・「不登校を未然に防止する取組と「学校復帰をめざした指導と支援」の視点で取り組む。 ・「いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度で指導する。	・不登校・いじめの認知件数	・不登校 小 0.5% 中 4.0% ・いじめ(1000人当たりの認知件数) 小 5.0件 中 4.5件	・不登校 小 0.0% 中 2.9% ・いじめ(1000人当たりの認知件数) 小 5.05件 中 33.82件	認知件数ゼロ	認知件数ゼロ	小A 中B 小C 中C	・担任や生徒指導主事による家庭訪問を早期実施し、不登校件数は減少した。 ・詳細な把握をしたため、「いじめ」の認知件数が増えた。	・積極的な徒指導による未然防止 ・生徒指導主事研修の内容充実 ・児童生徒の実態把握と早期対応 ・スクールカウンセラー等との連携強化 ・定期的な学校訪問
教 育	教育環境づくり	情報の公開及び学校評価・自己評価の推進 ○信頼に応える学校づくり ・情報発信及び学校評議員、学校評価委員会の意見を学校経営に活かす	・学校の情報を保護者地域へ発信し、保護者・地域の意見を収集し、学校経営に活かす。	①委員への来校依頼 ②学校だよりの校区内配付 ③不祥事生起件数	① 100% ② 100% ③ 0件	① 100% ② 100% ③ 1件	① 100% ② 100% ③ 0件	① 100% ② 100% ③ 0件	C	・各種行事や参観日等に積極的に来校依頼している。 ・学校の様子は、広く情報提供されている。 ・不祥事の生起件数が1件あった。	①町不祥事防止対策協議会の充実 ・全校で統一的行う取組の策定と充実 ・服務規律に係る研修の充実 ②各校のホームページの充実 ・定期的な更新 ・内容の点検及び指導の充実
	耐震対策及び学校再編計画	○教育環境の整備 ・学校校舎、体育館の耐震工事 ○学校再配置 ・学校統合の推進	・子どもたちの学ぶ意欲を高め、学校生活に夢と潤いを与え、たくましく生きる力を育む教育活動を支えるために、安全で快適な教育環境整備を行う。	・耐震補強等工事の実施 済棟数の割合	小 77.7% 中 22.2%	小 100% 中 22.2%	小 100% 中 100%	小 100% 中 100%	A	・小学校5校9棟中、耐震化対象3校4棟全て完了した ・統合中の完成で、学校の耐震化は完了する。	・非構造部材の耐震化等の実施
		○中高一貫教育 ・連携型中高一貫教育の推進	・平成26年度に本町教育へ導入予定している「連携型中高一貫教育」の制度化に向け、「推進協議会」や「支援会議」との連携と中高の交流事業の充実、体系化を図る。	・各関係者の満足度 ・油木高校への町内入学率	75% ②44%	78% ②53%	前年度数値を上回る	前年度数値を上回る	A C	・油木高校への関心や期待、満足度は、目標を達成した。 ・町内中学校からの入学率は、前年度を超えたが、目標を達成できなかった。	①教育効果を上げる実績づくり ・中高の学校現場の連携意識向上 ②町内からの入学率の向上 ・高校進路説明会の工夫 ・部活動での活用 ・油木高校魅力アップづくり支援策の継続検討 ・啓発活動の充実

		食育の推進 通学対策 家庭教育力の向上	○食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>食育推進ネットワーク協議会との連携を図り、望ましい食習慣や食に関する正しい知識と食を選択する力を身につけさせる。</li> <li>食に関する指導の充実を図り、地域食材を活用した学校給食の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養教諭の指導時間数 100 時間以上</li> <li>地場産品の使用割合 50 品目以上</li> </ul>	101 時間	115 時間	前年度数値を上回る	前年度数値を上回る	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養教諭の指導時間数は、県の目標値を超えた。</li> <li>地場産品の使用割合は、前年度を僅かに超えたが、目標を達成できなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栄養教諭未配置校への活用を広げていく。</li> <li>地場産品食材を積極的に取り入れるための体制づくり</li> <li>関係機関との連携</li> </ul>	
生涯学習	生涯学習の推進	公民館・図書館を拠点とした生涯学習施設の充実	○生涯学習・社会教育の振興 ・学習機会の提供及び学習環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯の各時期における生涯学習の充実については、乳幼児から高齢者に至るそれぞれの時期に対応した学習機会の提供に努める。</li> </ul>	各行事の参加人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人式 76.5%</li> <li>放課後子ども教室 19,356 延人</li> <li>公民館活動事業 36 講座</li> <li>J-OX 4 講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人式 75.2%</li> <li>放課後子ども教室 14,639 延人</li> <li>公民館活動事業 42 講座</li> <li>J-OX 4 講座</li> </ul>	前年度数値を上回る	前年度数値を上回る	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習講座「J-OX」の開催や成人式開催、放課後子ども教室事業、公民館活動事業の実施で、知的で心豊かな生活、活力ある社会の実現をめざせた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の身近なところで、より多くの学習機会の提供を図る。</li> <li>更に効率的な運営</li> <li>共通する地域的な課題について学習し、より効果的な活動内容の実現</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館の充実及び図書情報の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書を通じた「教養のまちづくり」を推進し、「ブックスタート事業」や読書感想文コンクールなどの読書週間定着に向けた取り組み、気軽に本を親しめる「ブック・クロッシング」の充実など、読書に親しめる環境づくりに努める。</li> </ul>	応募点数、貸出冊数、発行回数、実施数	読書感想文コンクール 510 点	読書感想文コンクール 497 点	前年度数値を上回る	前年度数値を上回る	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書感想文コンクールの応募件数は前年度をしまわった。</li> <li>図書の貸出や図書館だよりの発行、おはなしコンサートは、前年度数値を上まいった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読書感想文コンクールは、応募者が伸び悩んでいる。方法についての工夫が必要</li> <li>図書館においては、自館に無い本については、他団体との相互貸も活用したり順次購入し、要望に応える。</li> </ul>
							図書館貸出状況 33,421 冊	図書館貸出状況 36,408 冊	前年度数値を上回る	前年度数値を上回る	A		
							図書館だよりの発行 5 回	図書館だよりの発行 12 回	前年度数値を上回る	前年度数値を上回る	A		
おはなしコンサート 6 会場	おはなしコンサート 9 会場	前年度数値を上回る	前年度数値を上回る				A						
人権を尊重する社会づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権尊重への意識高揚、推進体制の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会教育の基底に位置付けて、地域の状況に即した住民学習を生涯学習として促進し、町民の人権尊重への意識高揚、推進体制の充実を努める。</li> </ul>	参加人数	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権学習会 35 団体 1,357 名</li> <li>指導者研修会 1 講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権学習会 35 団体 1,397 名</li> <li>指導者研修会 1 講演会</li> </ul>	前年度数値を上回る	前年度数値を上回る	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容や実施方法が画一的になり、参加人者も固定化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施内容、実施方法等検討</li> <li>他の行事等と併せて開催する等の工夫</li> </ul>			
スポーツの振興	○生涯スポーツの推進 ・体育協会並びにスポーツ少年団への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>低下傾向にある子どもの体力を重視し、スポーツ教室やトップリーダー派遣事業などスポーツに親しむを持ち、体力や技術の向上に向けた事業の展開を図る。</li> </ul>	講演会や各種教室などの活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュースポーツ講習会 9 回</li> <li>トップアスリート教室 4 回</li> <li>体力検定 2 回</li> <li>スポーツ団体補助金 6,107 千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ニュースポーツ講習会 7 回</li> <li>トップアスリート教室 3 回</li> <li>体力検定 2 回</li> <li>スポーツ団体補助金 6,189 千円</li> </ul>	前年度を上回る活動	前年度を上回る活動	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前教室等地域へスポーツ推進委員を派遣し、楽しく体を動かすことへの啓発に力を入れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進委員の活動を広く町民へ周知</li> <li>出前教室等地域に出て行く活動の増加</li> <li>スポーツ推進委員の後継者育成</li> <li>保健福祉機関等との連携</li> </ul>			

豊かな歴史と文化の育成, 振興	・文化団体の育成及び支援	○芸術・文化の振興 ・質の高い芸術並びに文化の提供	・芸術や文化活動の推進では, 町文化連盟の活動支援を行うとともに, 質の高い芸術や文化の体験, 鑑賞ができる機会の提供や文化, 芸能の拠点としての施設の管理運営に努める。	質の高い芸術や文化の体験の提供	・文化振興事業補助金 760 千円 ・巡回演奏会 800 千円 ・けんみん文化祭負担金 200 千円	・文化振興事業補助金 760 千円 ・巡回演奏会 800 千円 ・けんみん文化祭負担金 200 千円	前年を上回る活動	前年を上回る活動	A	・質の高い芸術や文化の体験と鑑賞ができる機会の提供ができた。	・総合文化祭や郡美術展の周知 ・より多くの町民が, 文化や芸術を鑑賞できる場の提供 ・更に質の高い音楽に触れ, 音楽への関心や技術の習得
	・文化財の継承・保存	・文化財の保存及び継承	・古文書等の保存施設を整備し, 順次搬入を行っている。今後, 分類整理を行ない保存管理に努める。 ・町内外の個人所有に係る文化財についても, 調査・収集・保管に努める。	・古文書等の分類整理・保存管理 ・発掘調査の実施状況	・古記録保管庫の目録の作成 78 千円 ・帝釈峡遺跡群調査 50 周年記念シンポジウム 一円 ・大風呂洞遺跡調査 450 千円	・古記録保管庫の目録の作成 66 千円 ・帝釈峡遺跡群調査 50 周年記念シンポジウム 300 千円 ・大風呂洞遺跡調査 450 千円	前年度を上回る整理・保存管理	前年度を上回る整理・保存管理	B	・歴史的文書等の保存, 活用等が計画どおりにできなかった。	・指定文化財等の所有者や保持者の高齢化, 後継世代の育成の課題等もあり, 従前の管理, 継承が困難な状況になりつつある。地域の共有財産として, 保管していく方途の考察 ・知識と経験を有する専門職員等の指導及び協力の要請
							計画的な発掘調査	計画的な発掘調査	A	・帝釈峡遺跡群調査は予定どおり進捗している。 ・シンポジウムも盛大に開催された。	